

2006.6

あつかし 荘だより

まごころ・ふれあい・思いやり

あつかし荘は、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。

あつかし荘は、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

桜に負けない満面の笑み 観月台公園で花見会

ボランティアの皆さん、ありがとうございました

今年の花見会は、4月12日に南グループ、13日の午前北グループ、午後東グループと、去年同様グループごとに行われ、利用者の皆さんは、車いす送迎車等に職員とともに分乗し、施設から程近い観月台公園をめざしました。

このうち13日は、天候良くすがすがしい春を感じることができました。桜の咲く公園内を散歩しながら池の鯉の大きさに驚いたり、桜の花に触れて喜んだり、また昼食時には、施設特製の三色おむすびの入ったお花見弁当を広げ

て春を味わいました。

記念撮影では、桜に負けないくらいの満面の笑みを職員に見せてくださいました。来年もまた行きましょう。

なお、当日は多くのボランティアさんのご協力をいただきました。紙面を借りて御礼申し上げます。



懐かしい名曲が心にひびく 民謡と三味線の集い

藤丸聖友会国見教室の皆さん、ありがとうございました

5月18日、藤丸聖友会国見教室による「民謡と三味線の集い」が開かれました。代表の遠藤清さんはじめ10名の皆さんが日頃鍛えたのと三味線の技をご披露くださいました。

集いは「さんさ時雨」の合唱に始まり、第1部は「秋田おぼこ」などの三味線合奏、第2部は「会津磐梯山」などの民謡、第3部は再び三味線の合奏と、約1時間にわたってふるさとの香り漂う懐かしい曲を次々と演奏してくださいました。お年寄りの中

には一緒に歌ったり、手拍子を送ったりされる方もいて、楽しいひとときを過ごしました。藤丸聖友会の皆さんありがとうございました。なお、この様子は新聞にも取り上げられました。



リレー エッセイ



嶋原 誠
処遇部長

二〇年を迎え初心に帰る

あつかし荘は、開所以来、20年になります。私も、皆様にささえられ、20年間、勤務させていただいております。

生活指導員の仕事にも、10年になりますが、最近、利用者の皆様と話す機会が少なく感じるがあります。

今こそ、初心にかえり、利用者の皆様と話す機会を多く持ち、要望等を受けとめ、利用者の皆様が快適に過ごされますよう、日々努力しますので、今後よろしくお願いしたいと思います。

■これからのおもな行事予定

- | | |
|-------|---|
| 6月15日 | お楽しみ会
ホットケーキづくり |
| 16日 | 法人/苦情解決委員会 |
| 22日 | 阿津賀志食堂
①鮭の照り焼き定食
②五目ラーメン
③鉄火丼 |
| 29日 | グループレク |
| 7月 3日 | ホーム内喫茶 |
| 6日 | 七夕飾りつけ |
| 13日 | 移動売店 |
| 27日 | お楽しみツアー |
| 8月27日 | あつかし荘夏祭り
盛りだくさんの企画でお待ちしています。どうぞお楽しみに！ご家族と一緒に出かけください。 |

利用者の状態や変化を的確に把握 グループケア

あつかし荘の取り組み①グループケア改善委員会

あつかし荘では、平成15年10月よりグループケアを導入しました。居室を3つ（東・南・北）のグループに分け、日中はグループに携わる職員を固定し、利用者への個別のきめ細かいケアを行うことを目的に、試行錯誤を繰り返しながらグループケアを行って来ました。

●食事・入浴はグループごと

グループケア以前は、いっせいにやっていたおむつ交換や食事、入浴はグループごとに行うことにしました。小規模単位で行うことにより、より安心感を持っていただけるようにしました。設備面では、4人部屋に和風のつい立を入れ、プライバシーを確保。今まで食事は食堂利用が中心でしたが、



ホールでも食事が摂れるようにしました。

●グループの時間を確保

また、グループの廊下の部分に椅子やテーブルを配置し、くつろいでいただけるようにしました。現在は月曜～土曜の午前中は入浴を行います。午後は各グループでそれぞれプランターに花を植えたり、お茶会をしたり、お散歩をしたりなど、利用者の望む生活が実現できるような時間が持てるようにしています。

●家庭的な雰囲気

グループケア導入の効果として、例えば、食事の面では、「ひとりひとりの嗜好や食事の量を確認しやすい」「同じメンバーで食事を摂るので家庭的な雰囲気になる」「誤嚥などの事故を防止できる」などがあげられます。

①グループケア改善委員会

②サービス向上委員会

③排泄ケア委員会

④リスクマネジメント委員会

あつかし荘の委員会ケアの取り組みを順にご紹介いたします。1回目はグループケア改善委員会です。

また、排泄の面では、排泄間隔を把握し個別にトイレ介助やおむつ交換を行うようになり、腎部のただれや便秘への対応も早くなりました。

●職員の意識も変わる

このようにグループケアを行うことにより、利用者の心身の状態や変化が以前よりも的確に把握できるようになりました。また、職員の意識も少しずつ変わり、ひとりひとりに合った介護方法を選択し、実行できるようになりました。でも、グループケアを行っているということだけに満足して、まだまだ個別ケアまで達していないのではないかと、至らない部分もあります。これからも、業務の改善に努め、今後も利用者の皆さんに「ここに来てよかった」と思ってもらえるよう、ケアの質の向上を図ってまいります。(主任介護士・高橋睦子)



あつかし荘 ● ケア情報 plus

ご家族アンケート ご協力ありがとうございました

先ごろ、ご利用ご家族を対象に、あつかし荘のサービスの内容や職員の対応など14項目についてお尋ねするアンケートを実施しましたところ、20家族からのご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

お寄せいただいたご意見は、おおむね満足ということでしたが、具体的には①駐車場が狭い、②花壇・菜園があればよい、などが寄せられました。また、提供しているサービスの内容についてご家族へのご説明が十分でないこともわかりました。今後、これらの結果をサービス向上につなげてまいります。今後ともご指導よろしく願いいたします。

厨房にコンベクションオープン



このほど厨房に「コンベクションオープン」が入りました。蒸す、焼く、蒸しながら焼く、などすべて一緒にできる全自動万能オープンです。

今後、このオープンを使って、利用者の方に満足してもらえるような料理や食事形態を日々追求し、利用者の方から「おいしい」という一言をいただけるよう頑張っていきます。(栄養士・上田)

法人認知症介護プロジェクト

信達福祉会では、全職員が参加する認知症介護学習会を2月から4回にわたって開催してきました。

テーマは、①認知症の症状についての基本的理解、②認知症高齢者の行動障害の理解と対応、③前同2、④認知症高齢者とのコミュニケーションで、石塚勝弥・法人処遇部長とプロジェクトメンバーを中心に学んでいます。



あつかし かわらばん

みどり会の津軽三味線 あつかし荘の新年会

1月12日、あつかし荘にて新年会が行われました。今年にあつかし荘初めての試みで、「津軽三味線みどり会」の5人の皆さんによる三味線の演奏が行なわれました。「津軽じょんがら」「東京音頭」「あいや一節」など時には力強い、時には楽しい津軽三味線の音色に利用者の方々は聴き入っていました。最後には、「飯坂小唄」のリクエストもあり、皆さん、あつかし荘の初春を満喫されたようでした。



「鬼は外!」 豆まき会開催

2月1日、豆まき会が行われました。太鼓の音とともに赤鬼、青鬼が現れ、年女の3名を中心に、みんなで「鬼は外」と豆を投げつけました。ありったけの豆を投げつけて鬼を散々な目に遭わせ、今年一年の無病息災を願いました。



「星影のワルツ」熱唱 カラオケ会開催

1月19日、レーザーカラオケを使用し、カラオケ会が行なわれました。「星影のワルツ」「同期の桜」「別れの一本杉」「青い山脈」「星の流れに」など、次々になつかしの歌が歌われました。ほんの1時間ほどでしたが、皆さん昔にタイムスリップされたようでした。

お気に入りを購入 恒例の移動売店実施

1月26日、移動売店がありました。今回は、桑折町の商店の協力を得て、洋服などをあつかし荘で実際に陳列し、利用者の皆さんに購入して頂きました。

毛糸の帽子や靴下等の希望があり、持参していただき、希望する商品を選び、皆さん、満足な様子でした。また、機会があれば、来園をお願いします。



半田醸芳小学校5年生 リフレッシュ交流会に来園

2月15日、リフレッシュ交流会がありました。今回は、半田醸芳小学校5年生が、あつかし荘を訪れました。

合唱、合奏、劇などをご披露いただき、利用者みなさんも笑顔が見られました。その後、5年生と利用者みなさんとが話し合う機会もあり、利用者みなさんは、リフレッシュされたと思います。半田醸芳小学校5年生の皆さん、また来て下さい。お待ちしております。



利用者の安全を守る 防災研修開く

2月21日、伊達地方消防組合中央消防署西分署副署長の佐藤洋一さんを講師に招き、施設の防災について話を聞きました。職員一同、入所者の皆様の安全に対して更なる努力を続けてまいりたいと考えております。



今月のポイント介護

麻痺がある方の寝衣

麻痺などの障害がある人の寝衣は、着脱しやすいものを選びましょう。できるだけ前開きのものがよいのですが、丸首の場合は襟ぐりの大きなものにします。ボタンも大きなものにするか、マジックテープのものにします。袖つけもゆったりしているのがよいでしょう。

また、ズボンの両脇にファスナーを取り付けると着脱しやすいです。麻痺がある場合には、脱ぐ時は健康な側から脱ぎ、着る時は患部側を先にするとスムーズに着替えられます。

お年寄りの爪

お年寄りの爪は、爪自体がかたく厚くなっており、切りにくくなっています。爪切りは爪の状態に合わせて選び(ふつう用・かたい爪用)、皮膚を傷つけないようにします。深く切りすぎないことも大切です。爪切りの前に足浴や手浴を行なって、爪を十分にやわらかくすると切りやすく、お年寄りにも不安をあたえないですみます。

梁川保育園の皆さんと ひな祭り



3月2日、ひな祭り会が開かれました。梁川保育園の園児の皆さん32名が訪れ、女の子はあでやかな衣装を身にまとい扇の舞を、男の子は白虎隊に扮して勇ましい演舞をご披露してくださいました。そして、利用者一人一人と握手、言葉を交わしカーネーションの花をプレゼントしてくださいました。利用者みなさんはお子さんたちのかわいらしい踊りに盛んに拍手を送っていました。

さいごに園長からささやかなプレゼントを贈りました。梁川保育園の皆さん、ありがとうございました。

あつかし掲示板

■ありがとうございます！

●学生さん等の実習

福島介護福祉専門学校、福島能力開発促進センター、福島大学人間発達文化学類、日本医療事務センター

●ボランティアさん

【国見町】国見町婦人会、ニューモラルクラブ、磐青の会、退公連伊達支部女性部、早田捷、岩野和子、相原ミツエ、大槻トリ、酒井恒子

【桑折町】桑折町婦人会、JA女性部
(平成18年5月31日まで、敬称略・順不同)

●ご寄附

桑折園芸様からカーネーションの花苗をたくさんいただきました。早速あつかしガーデンに植えて利用者の皆さんに楽しんでいただいております。

桑折町・虎岩ヤス子様から、手づくりのバッチワーク18点をいただきました。端切れをきれいにつないだ見事な作品です。



●草刈り作業

国見町・ニューモラルクラブ18名の皆さんが施設の草刈を行っていただきました。

■介護保険改正の動き

昨年に続き、本年4月よりまた介護保険制度が変わりました。今回の改正では特に、要支援、要介護1の軽度者を対象とするサービスの改正がありました(新予防給付)。施設については、介護報酬の引下げがありました(20単位/日減)。

その他、「介護サービス情報の公表」の義務化等様々な改正がなされております。

あつかし荘では、今まで以上に利用者の皆様への介護サービス向上に日々努めていきたいと考えております。(菊池)

■職員紹介 Part8



高橋睦子
主任介護士

【趣味】映画鑑賞 旅行
【ひとこと】御利用者の皆様が、毎日、笑顔で生活できるよう、お手伝いさせていただきます。これからもよろしくお願いいたします。よろしくお願いします。



松田とも子
介護士

【趣味】陶器の置物収集
【ひとこと】利用者の皆様が、毎日安心して元気に楽しく過ごせるよう、援助していきたいと思っております。よろしくお願いします。



上田佳奈子
栄養士

【趣味】映画鑑賞
【ひとこと】利用者の皆さん一人一人に合った食事を提供し、毎日の食事を楽しんでもらえるように一生懸命頑張っています。

法人人事

法人本部総務部長として長根泰弘(前・川俣ホーム処遇部長)があつかし荘に異動になりました(平成18年4月1日付)。よろしくお願いします。

苦情相談 受け付けます

あなたやあなたのご家族などが、現在ご利用されている当事業所の福祉サービスについて苦情相談等がありましたら、ご遠慮なく「苦情受付担当者」もしくは「第三者委員」にお申し付けください。

【苦情受付担当者】

処遇部長 嶋原 誠
生活指導員 穴戸 克己

【第三者委員】

弁護士 千葉 和彦さん
介護保険運営協議会委員 佐藤 豊治さん
行政相談員 高橋 節子さん

【苦情解決責任者】

施設長 小野 智義

居介

あつかし荘指定 居宅介護支援事業所



佐藤奈穂子
主任介護支援専門員

みなさん、こんにちは。
あつかし荘指定居宅介護支援事業所の佐藤です。

居宅介護支援事業所は主に、
○介護保険の申請手続きの代行
○ケアプランの作成
○各種サービスの情報提供など
を行うところです。

ご自宅でいろいろなサービスを利用しながら安心して生活できるようお手伝いしますので、介護に関する相談、困りごと等ございましたらお気軽にお電話ください。ご相談は無料です。

あつかし荘指定居宅介護支援事業所
電話024-585-5610

編集後記

◆あつかし荘では4月、利用者の皆さんと一緒に元気いっぱい20年を迎えました。今後ともよろしくお願いいたします。

◆これまでご来園の皆様には駐車場が狭くご不便をお掛けいたしました。このほど藤田病院棟南側に新たに駐車場を整備しました。どうぞご利用ください。

◆広報班では、玄関ロビーに小さな箱を置いて、ご来園者の皆様からのご意見を募集しております。

◆あつかし荘だよりを横書きにしてみました。いかがでしょうか。ご意見をお寄せください。

2006年6月15日号

あつかし
荘だより

編集●あつかし荘広報班

(穴戸克己、高橋睦子、松浦由巳子、菊池明夫、嶋原 誠)

発行●社会福祉法人信達福祉会 特別養護老人ホームあつかし荘
〒969-1642 福島県伊達郡桑折町大字北半田字一本木前5-2
TEL024-585-5610 FAX024-585-5611